



広報

なは



市民の友

第773号毎月1回発行
2015年(平成27年)

6月

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2015(平成27)年4月末現在	
総人口	322,882(3,117)
男	156,490(1,799)
女	166,392(1,318)
世帯数	145,446(1,945)

発行：那覇市
編集：秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎(代表)867-0111
印刷：有限会社サン印刷

戦後
70年



高校生と城間市長が平和について語る

先の大戦から今年で70年。戦争体験者が高齢化していくなか、戦争と平和について次の世代へどう伝えていくかが課題となっています。

住民を巻き込んだ唯一の地上戦が繰り広げられた沖縄では、「慰霊の日」にあわせて学校などで平和学習が行われていますが、学生同士で「平和」について考える機会が少ないと考える高校生が平和フォーラムを企画しています。フォーラムに先立ち、将来を担う高校生が考える戦争や平和について、市長と語り合いました。



城間幹子市長(以下、市長)

今日はお会いできて嬉しく
思います。みなさんが考える平
和について教えてもらえます
か。

佐藤健士さん

私は東京都出身で2年前に
沖縄に来ました。

昨年の慰霊の日には戦争当
時に米国のカメラマンだった方
に英語でガイドを行うなど、沖
縄戦について勉強しているこ
ろです。平和な日本では「知る」
ことが大切だと考えています。
多文化を受け入れる沖縄の
独特な文化も平和実現の大き
な可能性を秘めていると感じて
います。県外から来た自分をす
んなりと受け入れる間口の広
さは沖縄の宝だと思います。

上原晴美さん

祖母の家族が戦争で亡くな
り、小学校4年生頃から、毎年
慰霊の日には家族で平和記念公
園の式典に参加していますが、
友人は戦争について触れる機会
がなく無関心な印象がありま
す。

また、辺野古に住んでいる祖
母は、基地建設に賛成・反対の
両方の立場の中で日々生活し
ています。心が落ち着かないよ
うで、私も建設現場の混乱した
様子を見て、とても心が痛いま
した。ですが「無関心」はいけな
い。



沖縄尚学高校2年 上原 晴美さん



那覇国際高校3年 野原 咲子さん

い。私たちは戦争体験者から学
んだその思いになんととしても応
えていきたいと思っています。

野原咲子さん

留学していた祖母の兄は戦
争時に米軍の通訳として来沖
したと聞いています。

兄妹が敵同士になるなんて、
私たちには想像を絶すること
ですが、祖母がいたため戦争の
悲惨さを知ることができまし
た。その祖母も亡くなり、戦争
体験者が減ってきている今、私
たちが平和について発信し、
守っていくことが大切だと考え
ています。私たちの働きかけで、
その意識も強まっていくと思
います。

玉城亜紀乃さん

私は読谷村出身です。村では
それぞれの字に慰霊碑があり、
慰霊の日にはみんなお参りをし
ていました。高校の友だちが慰
霊の日を「休みでラッキー」と話
しているのを見て、ちよつと違
うんじゃないかなと感じていま
す。

また、読谷村のチビチリガマ
ではほとんどの人が自決したの
に對し、英語が話せる人がいた
シムクガマではほとんどの人が
助かったという話は村の人なら
みんな知っていますが、ほかの
地域の人は知らない人も多く、
地域差があると感じています。

市長

私の父は19歳で召集され、背
中に大きな傷あとがありまし
た。母も19歳の時に南部へ逃げ、
捕虜になったと聞いています。
2人の話しを聞き、追体験する
ことができたが、自分は体
験者ではないため、平和への思
いがだんだんと薄れてしまう怖
さがあります。しかし、平和な
社会について考えている高校生
がいるということを心強く思
います。

私も、市長として平和への思
いを、もつと強く、堅く、大き
く、みなさんと一緒に平和を世
界へ届けたいと思います。

ところで、平和について考え
る企画を進めているということ
ですが。

佐藤さん

戦争を体験していない私た
ちの世代は何ができるのか、そ
の役割を探さなければならな
いと思っています。そこで6月
20日(土)に、高校生を中心とし
た平和についてのディスカッシ
ョンを計画しています。高校生へ
事前にアンケート調査を行い
結果を発表する予定です。ま



沖縄尚学高校3年 佐藤 健士さん



開邦高校3年 玉城 亜紀乃さん

た、それぞれの世代によって受
けた教育や平和に対する考え
方が違うと思うので、フォー
ラムを通して世代を超えたつな
がりもできればと考えていま
す。

市長

すばらしい企画です。私も応
援しますので、ぜひ成功させ
てください。

高校生が企画する
沖縄平和フォーラム2015

日時：6月20日(土)午後2時～
対象者：県内の高校生および
小・中・高校の教職員など
会場：那覇市水道局みずプラッサ 3階
お問い合わせ：なは女性センター
☎951-3203

主な紙面

- 戦後70年 高校生と城間市長が平和について語る……………5
- 省エネ補助事業／なふあぬわ(協働)／その他……………4
- 子育て世帯臨時特例給付金／なはの子育てインフォ／その他……………3
- 特別弔慰金……………3
- 情報パック……………7
- 博物館トピックス／ニュースダイジェスト……………8